

昨年度の老人医療費 県下で高額第3位

一人当たりにかかった費用100万円を超える

平成19年度の日本人の平均寿命は、女性が85.99歳、男性が79.19歳でともに過去最高になり、特に、女性は23年連続で世界一という長寿大国になりました。ただ、世界一の長寿大国になっても、安心して老後を過ごせなければ、本当に豊かな老後とはいえません。

ところで、「平成19年度の老人医療費速報」（熊本県健康福祉部発表）によると、【表Ⅰ】のとおり阿蘇市は県下48市町村中、高いほうから3番目、年間一人当たり102万7940円の医療費を使っています。平成18年度と比較すると、約2万円以上の増加で阿蘇市の老人医療費は、平成14年度以降一度も下がることなく毎年増加の一途をたっています。医療費の低い球磨郡の町村と比較すると、年間一人当たり約30万円程度多く医療費を使っていることとなります。これは、阿蘇市の4,967人の老人医療受給者（平成20年3月31日現在）

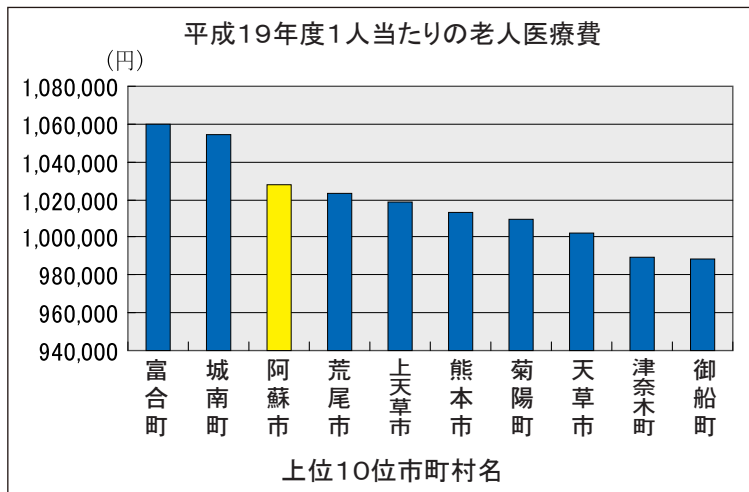
が球磨郡と同じ程度の医療費だったとしたら、年間約15億円分に相当します。

医療費が高い、保険料が高いと言う前に私たち市民は本当に必要な医療を本当に必要な時に利用しているでしょうか？一人ひとりが、真剣に考え、病気の予防に努め、病気にかかったら早目に受診し、ひどくならないうちに治療するのが最も効率がいいと思われませんが、残念ながら、【表Ⅱ】からもわかるように、かなり悪くなってしまうから受診し、薬代がかさみ、いよいよ悪化し入院が長引くというのが阿蘇市の老人医療の傾向です。

自分一人くらい病院を掛け持ちして受診しても大丈夫と思いませんか？そんな気持ちで医療費を

＜平成19年度阿蘇市老人医療費の状況＞

【表Ⅰ】



【表Ⅱ】

(一部自己負担額を含む一人当たり医療費)

診療内容	金額	順位
入院診療費(入院中の食事療養費及び生活療養費含む)	615,403円	4位
(入院日数 32.83日)		2位
入院外診療費(調剤費含む)	388,754円	12位
(調剤費のみ)	(143,332円)	9位
歯科診療費	21,225円	24位
その他(医療費の支給、訪問看護等)	2,558円	36位
一人当たり老人医療費の合計	1,027,940円	3位

引き上げ、結果的に保険料の負担も大きくしてしまいます。これ以上負担が増えないよう、皆で医療費の適正化に努めましょう。そして、誰もが保険証により安心して医療を受けることができる国民皆保険の

制度を子や孫の世代まで引き継いでいきましょう。
 《注：老人医療は平成20年4月から長寿医療（後期高齢者医療）に移行しました。》

